

## 平成27年度 リハビリテーション看護研修会実施要綱

### 1 目的

リハビリテーション看護または知的障害・発達障害の看護に必要な専門的知識を習得し、その資質の向上を図るとともに、障害者看護の充実に資することを目的とする。

### 2 主催

国立障害者リハビリテーションセンター

### 3 期間

平成28年2月17日（水）～2月20日（土）

### 4 場所

国立障害者リハビリテーションセンター学院（埼玉県所沢市並木4丁目1番地）

### 5 受講定員

50名

### 6 受講資格

リハビリテーション看護または知的障害・発達障害の看護に2年以上従事し、看護師、准看護師の免許を有している者

### 7 研修内容

別紙日程表のとおり

### 8 研修会費用

6,600円（初日に現金徴収する。なお、宿泊費及び食費は含まない。）

### 9 受講手続

受講希望者は、国立障害者リハビリテーションセンター学院ホームページ（下記URL）にアクセスし、申込案内に従いお申し込み下さい。

### 10 申込締切

平成28年1月15日（金）17:00

### 11 受講決定

1月29日（金）までに、ご登録いただいたメールアドレス宛て通知します。

### 12 修了証書

研修会修了者に対し、修了証書を授与します。

### 13 宿泊施設

①本センターの研修用宿泊施設に宿泊希望する者は、申込書式の該当欄にチェックをして下さい。

②宿泊費用は一泊2,380円（初日に宿泊日数分を徴収します。）但し宿泊は研修会当日（2月17日）からとし、初日の研修会終了後の入舎となります。

※研修前日の宿泊はできません。

③宿泊人数には制限がありますので、お申し込みいただいても宿泊できない場合があります。

④宿泊内での食事の提供はございません。素泊まりのみとなります。

⑤宿舎の詳細については当センター学院HPに掲載しています。

（トップページの「研修宿舎」）

#### 14 その他

- ①本研修会に関する照会は、国立障害者リハビリテーションセンター学院にお願いします。
- ②研修会最終日の終了時間は、プログラムの進行上延長もしくは変更される場合があります。お帰りの航空機、列車等の手配は予め時間に余裕をもってご準備願います。
- ③一部聴講は受付しておりません。

〒359-8555

埼玉県所沢市並木4丁目1番地

国立障害者リハビリテーションセンター学院

TEL 04-2995-3100 (内線2619)

FAX 04-2996-0966

URL <http://www.rehab.go.jp/College/japanese/training/27train.html>

## 平成27年度 リハビリテーション看護研修会日程表

テーマ：障害者支援における多職種共働と看護職の役割 ～理念と技術の向上を目指して～

日 付	午 前	午 後
2月 17日 (水)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付 (12:20-13:00)</li> <li>・開講式 (13:00-13:15)</li> <li>①行政説明 医療政策・看護政策 (13:15-14:15) 厚生労働省 医政局 看護課 看護職員確保対策官 石川 賢司</li> <li>②講義 地域における共働(連携)の現状と課題 ～訪問看護の立場から～ (14:30-16:00) NPO 白十字在宅ボランティアの会 理事長 株式会社ケアーズ 代表取締役 白十字訪問看護ステーション 統括所長 暮らしの保健室 室長 秋山 正子 (国リハ病院見学：希望者のみ) (16:15-16:45)</li> </ul>
18日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>③基調講演 多職種共働と看護職のこれからの役割 (9:00-10:30) 星槎大学 副学長 細田 満和子</li> <li>④意見交換会 (10:45-12:15) 国立障害者リハビリテーションセンター病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤講義・演習 障害児者の口腔ケア (13:15-15:15) 明海大学 歯学部 形態機能成育学講座 口腔小児科学分野 講師 吉田 美香子</li> <li>⑥講義 看護師に必要なアンガーマネジメント (15:30-17:00) 横浜市立大学 医学部看護学科 講師 田辺 有理子</li> </ul>
19日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦講義・演習 多職種から栄養ケアを理解して もらうためにできること (9:00-10:20)</li> <li>⑧講義・演習 食事の援助のポイント (10:30-12:00) 地域栄養ケア PEACH 厚木 代表 管理栄養士 江頭 文江</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑨講義・演習 多職種連携のためのコミュニケーション (13:15-15:15) 株式会社グローバルヘルスコミュニケーションズ 代表取締役 蝦名 玲子</li> <li>⑩講義 リハビリテーションにおける 多職種連携の未来～看護職に期待すること～ (15:30-17:00) 慶応義塾大学 医学部リハビリテーション医学教室 教授 里宇 明元</li> </ul>
20日 (土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪グループ討議 (9:00-10:30) 国立障害者リハビリテーションセンター病院</li> <li>⑫まとめ (10:45-12:15) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 看護部長 粟生田 友子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉講 (12:15)</li> </ul>